

【テーマ（１）５】 団体名 国立大学法人金沢大学

「教員免許取得率を軸にした専門性と教職課程の両立のための支援」

調査の概要

◆**課題認識** 教員免許を取得するには、各教科の専門科目や教育の基礎的科目だけでかなりの単位数となる。これらに加え、各個人の強みとなる専門性を育成するためには、大学段階で、「教える知識や技術」と各個人の「強みとなる専門性」を両立させる教育課程の編成に工夫が必要となる

◆**調査研究の目的** 「教える知識や技術」と各個人の「強みとなる専門性」を両立させる教育課程の編成の工夫を明らかにすること

◆**調査研究の方法**

- ・教職課程を有するすべての大学を対象としたアンケート調査（要素のデータ化）
- ・上記調査から突出した値を持った大学にヒアリング調査（運営側具体的事例の収集）
- ・教員免許取得を志す本学学生を対象としたヒアリング調査（受講側具体的事例の収集）

取組のポイント・成果

◆**取組のポイント**

教職課程に関する情報発信は、教員免許法によって公開すべき「情報」が定められているが、フォーマットが定められておらず、各教育課程を比較する分析が行えない状態であった。そこで、教職課程を有するすべての大学から必要なデータ収集を行ったうえで（656の教職課程が回答）、有用な教育課程の編成の工夫を明らかにすべく分析及びヒアリング調査を行った。

◆**結果**

656の教育課程をデータのみで比較し、客観的な分析を行ったところ、以下の結論が得られた。

「教員一人当たりの学生数」や「教職に関するセミナー開催数」等は教員就職率と相関が弱い。最も重要な働きかけは、

在学中に学校現場に出る「スクールインターン」等の活動であり、教育実習以外に学校現場を体験するプログラムをカリキュラムに組み込むことの重要性が、データからも示された。

	データ数	免許取得率 平均	免許取得率 中央値	教員就職率 平均	教員就職率 中央値
人文科学	146	17%	11%	39%	36%
社会科学	94	9%	4%	27%	23%
理学	36	15%	14%	27%	26%
工学	55	5%	4%	20%	19%
農学	19	7%	6%	18%	16%
保健	62	24%	18%	32%	30%
商船	0				
家政	27	21%	16%	32%	31%
教育	32	66%	73%	41%	42%
美術	14	12%	11%	14%	8%
その他	31	36%	33%	27%	26%
教員養成課程	130	80%	95%	51%	54%

今後の課題

◆**教育カリキュラムへの還元**

データ収集、分析及びヒアリングを実施したが、そこから得られた知見を用いたカリキュラムの提案が途上となった。特に教員養成ではない教職課程へ、教育実習以外に学校現場を体験できる授業やイベントを組み込むための工夫について、引き続き考察を続けたい。